

とくしまみなみかんじょうどうろ

## 徳島南環状道路の橋梁建設現場で見学会を実施します。

～子どもたちが大きな橋梁の建設現場で貴重な体験をします。～

### 【ポイント】

- ・ 日時 平成22年 2月 27日 (土) (別紙-1参照)  
午前10時 ~ 午前12時
- ・ 場所 平成21-22年度 <sup>あくいしんばし</sup>鮎喰新橋下部工事 (国府町 <sup>こくふちょうえんめい</sup>延命地区)  
鮎喰川河川内 工事現場 見学室 (別紙-2参照)
- ・ 見学内容 ニューマチックケーソン工法の説明 (別紙-3参照)
  - ・ 工事概要・工法説明 ※ 小雨決行
  - ・ 参考工事 VTR
  - ・ 設備案内
  - ・ 建設機械 搭乗体験 (小学生対象)
- ・ 見学対象者 徳島市国府町延命地区(町内会・子供育成会) 約60名

### 【概要】

- ・ 徳島河川国道事務所は、徳島市内の渋滞緩和を目的として整備を進めている「国道192号徳島南環状道路」の工事現場において、地域の皆様とのコミュニケーションを図り、工事に対する理解を深めていただくために地元地域の方を対象に工事現場見学会を実施します。
- ・ 現場は、ニューマチックケーソン工法を採用した橋梁下部工事ですが、今回の現場は、4つの基礎を同時に施工するなど比較的規模の大きな工事であり、建設現場を直接見て頂くことは「大変貴重な経験」になると考えています。

### 国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画「No.5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取組に関連します。

### 【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所  
副所長 (道路) 上林 正幸 (かみばやし まさゆき) TEL 088-654-2211(代表)  
◎工務第二課長 門田 隆志 (かどた たかし) TEL 088-654-9162(直通)  
◎主たる問い合わせ先

# 見学会スケジュール

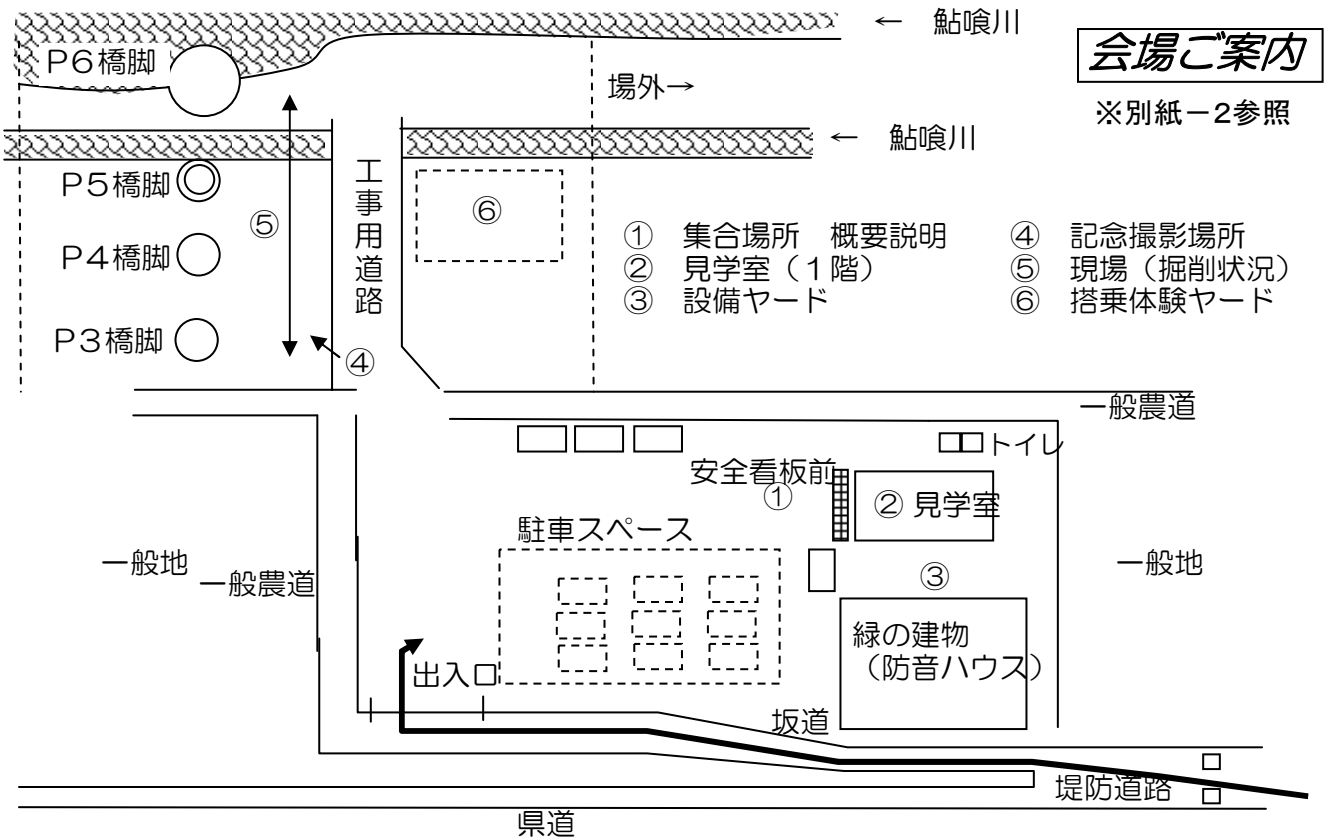
別紙-1

## 所要時間

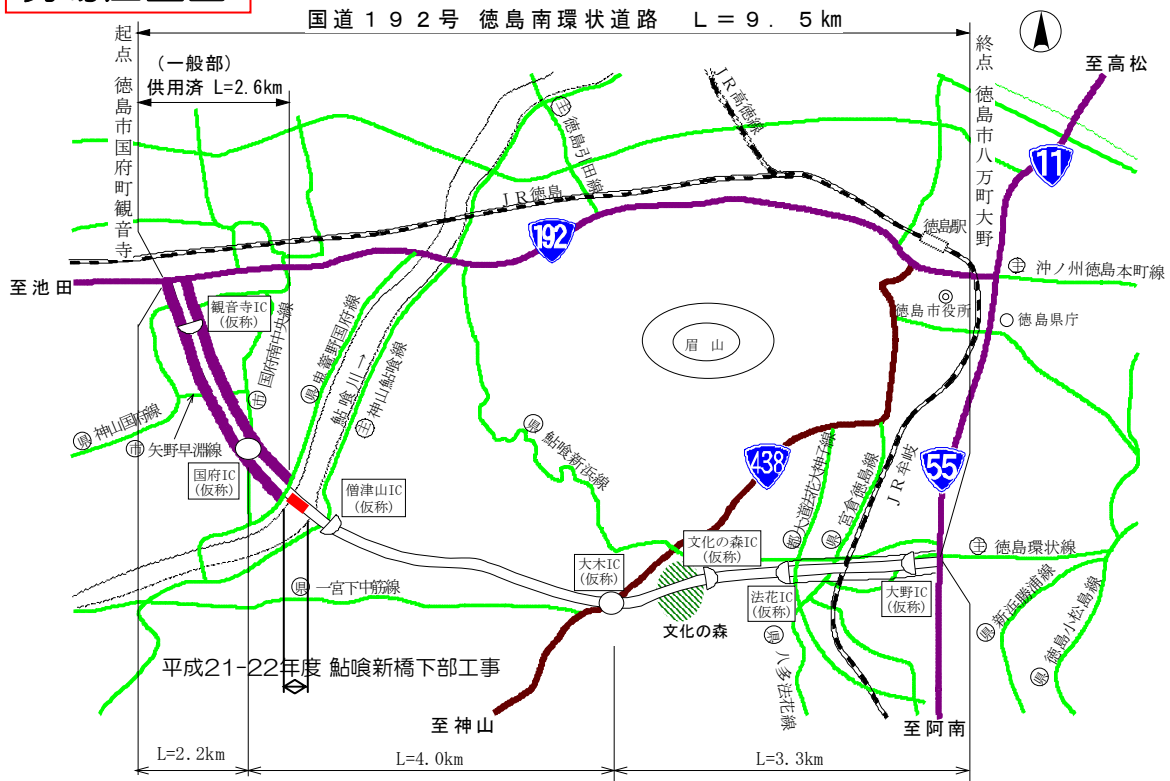
10:00 20 平成21-22年度 鮎喰新橋下部工事  
 設備ヤード 見学室前 集合 (①集合場所)  
 パネルによる 現場概要説明

※ヤード及び見学室の都合上、3班に分かれて見学頂きます。

第1班		第2班		第3班	
10:20	15 ②見学室 配付資料による 工法説明	10:20	30 ⑥建設機械 (バックホウ) 搭乗体験 (運転者同乗)	10:20	15 ③設備ヤード 見学
10:35	15 ②見学室 工法VTR 視聴			10:35	15 ④記念撮影 ⑤現場見学 (場内移動)
10:50	15 ③設備ヤード 見学	10:50	15 ②見学室 配付資料による 工法説明	10:50	30 ⑥建設機械 (バックホウ) 搭乗体験 (運転者同乗)
11:05	15 ④記念撮影 ⑤現場見学 (場内移動)	11:05	15 ②見学室 工法VTR 視聴		
11:20	30 ⑥建設機械 (バックホウ) 搭乗体験 (運転者同乗)	11:20	15 ③設備ヤード 見学	11:20	15 ②見学室 配付資料による 工法説明
		11:35	15 ④記念撮影 ⑤現場見学 (場内移動)	11:35	15 ②見学室 工法VTR 視聴
11:50	挨拶				
12:00	終了				



**現場位置図**



国道192号 徳島南環状道路を南下 鮎喰河川敷内（国府町延命地区）  
 （堤防上入り口が狭いため、一宮地区方面より進入下さい。）

**会場ご案内**



お車でお越しの方は  
 左図駐車場に駐車願います。  
 スペースに制限がございますので  
 徒歩、二輪車、乗り合わせに  
 ご協力願います。

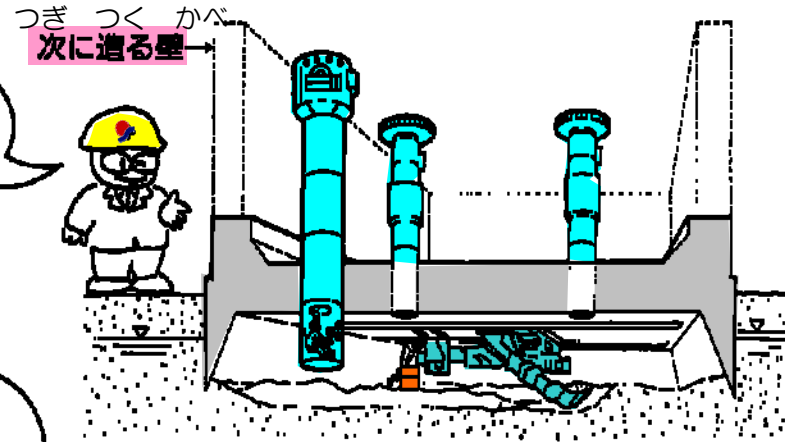
# ニューマチック ケーソン工法の 概要

(あらまし、だいたいのところ)

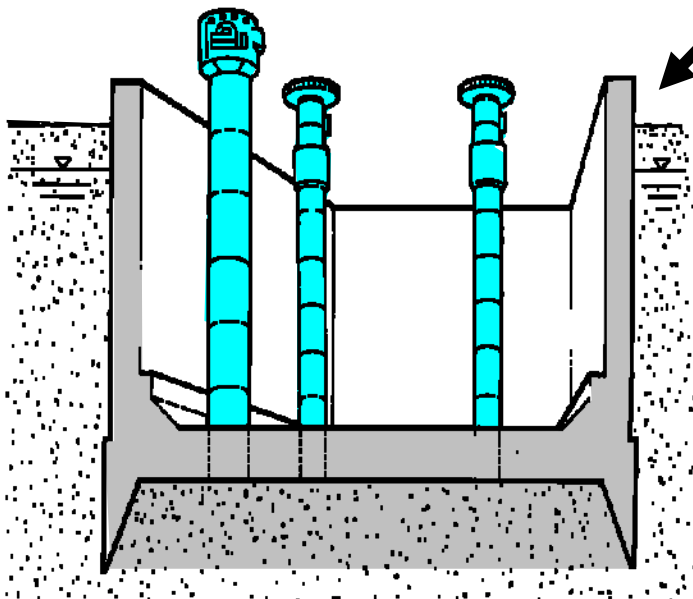
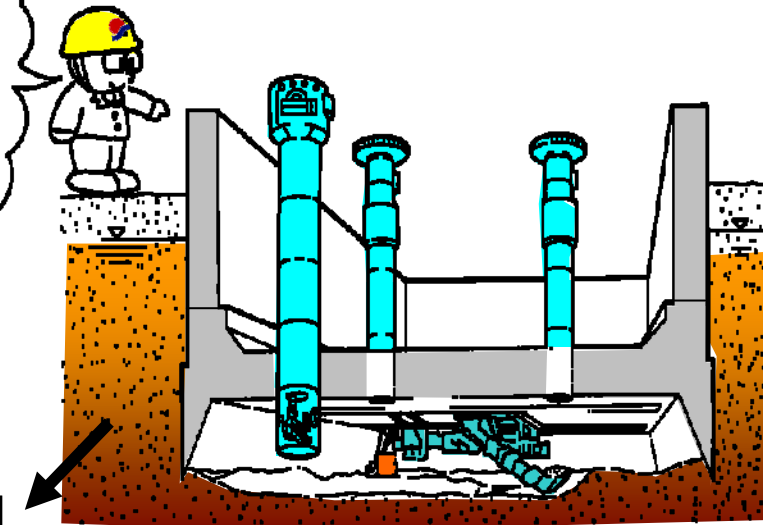
さっきの水を地下水、コップを掘るための部屋とおもって、下の図を見てください。



はじめは、掘るための部屋を造り必要な機械をとり付けます。このとき地下水が入らないように、圧縮空気を部屋の中に入れます。



下を掘るとコンクリートの重さで沈んでいきます。つまり、沈んでは上に建物を造り沈んでは造りとくり返します。このとき計画通りきちんと沈めるのがぼくたちの技術なんです！

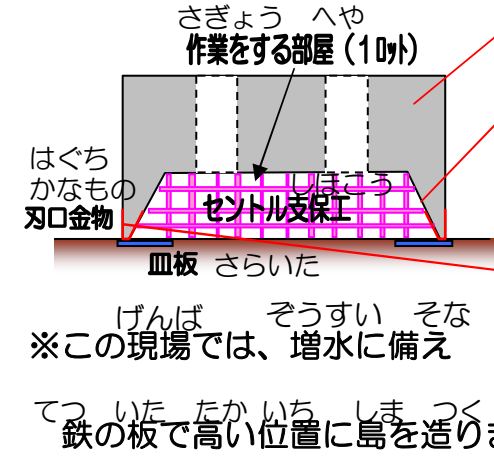


かたい地層まで沈んだら掘る部屋の中にコンクリートを流込みます。これでニューマチックケーソン工法が完了し、しっかりとした基礎となるんです。

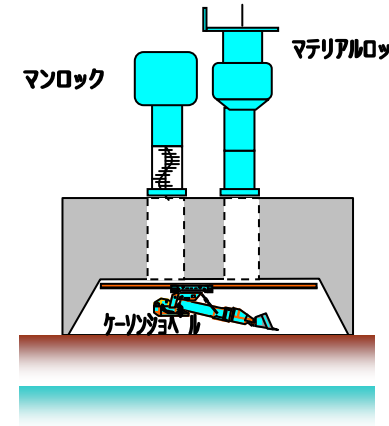
さぎょう じゅんじょ

## 作業の順序

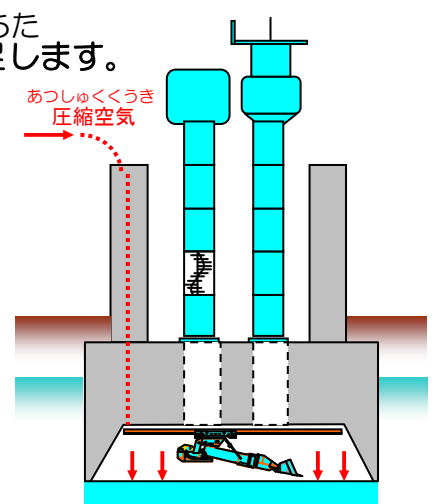
1. 地面を平らにし、部屋となる空間を作るためパイプの柱や板を張り、10tを造ります。(鉄筋を組み、コンクリートを打つ)



2. 掘るための設備をとりつけます。これを艀装(ぎそう)といいます。

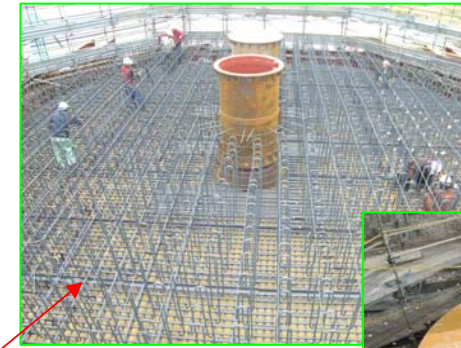


3. 部屋の中を掘りコンクリートの重さでケーソンを沈め次の部分を打足します。この時、部屋の中に圧縮空気をおくりつけます。

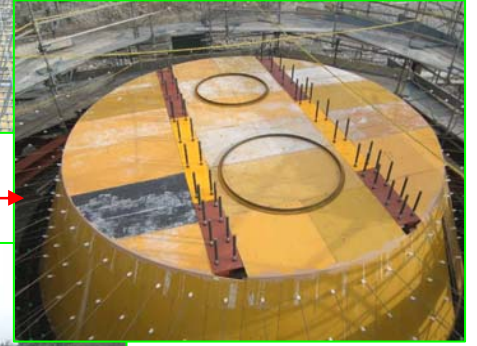


参考 - 3

てっきんくみだて 鉄筋組立



くうどう かたわく 空洞をつくる型枠



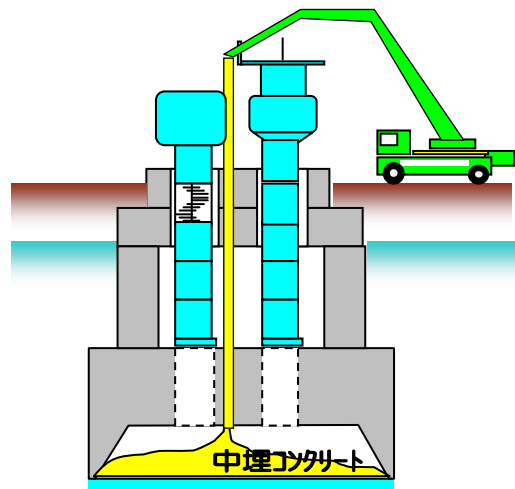
はぐちかなもの 刃口金物

※いちばんしたを つよくする

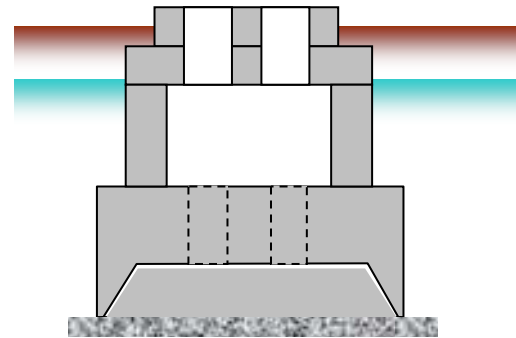
このうえにのせる



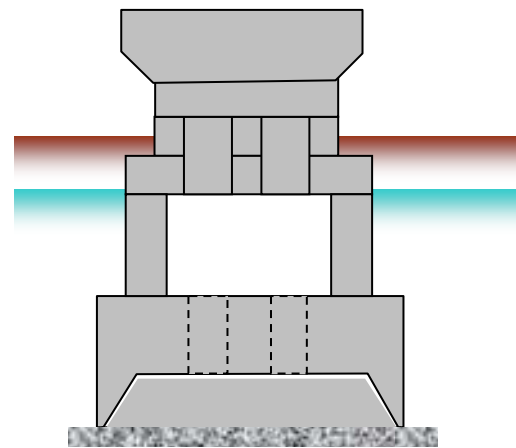
4. ケーソを決められた深さまで沈めたら、部屋の中にコンクリートを打ちます。



5. 部屋の中のコンクリートが固まったら、これを、臍装解体（ぎそうかいたい）といいます。

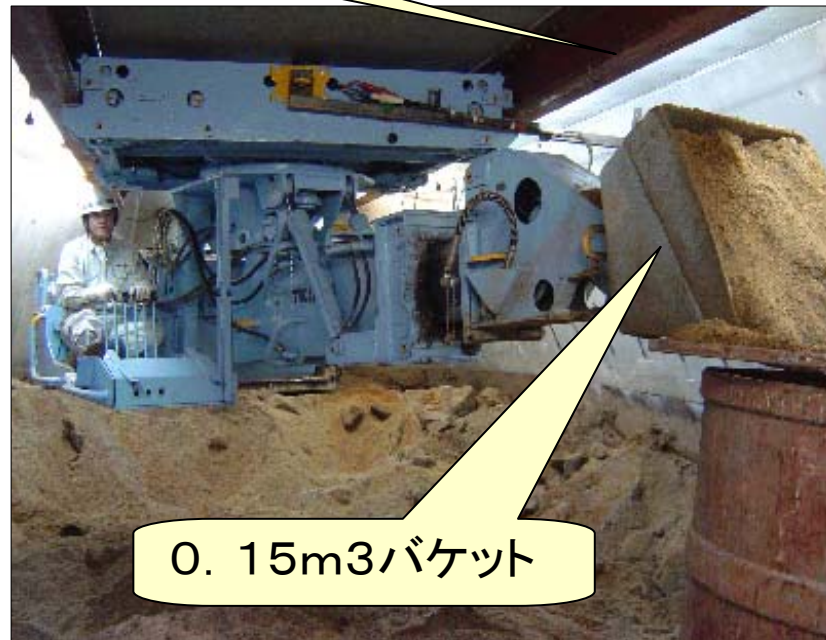


6. その後、上部を打足し、橋脚の完成となります。

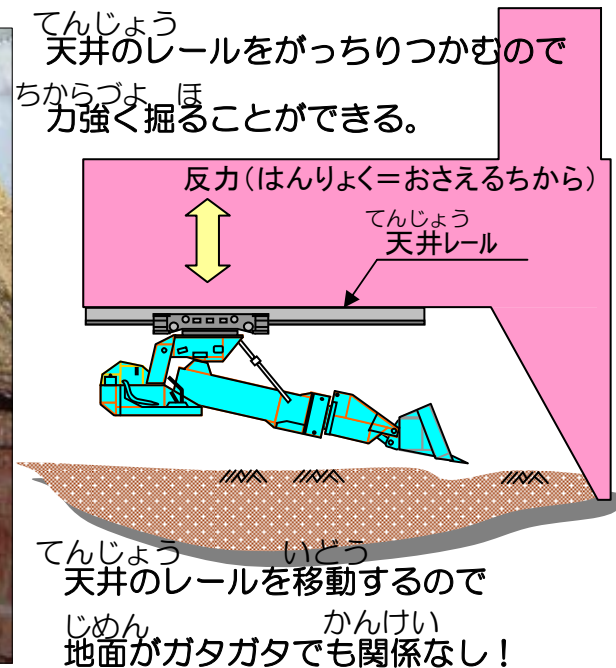


**ケーソンショベル**  
作業をする部屋の天井レールをはしりのちち走り、ブームを伸び縮みさせ360°回転します。この機械は電気で動いています。

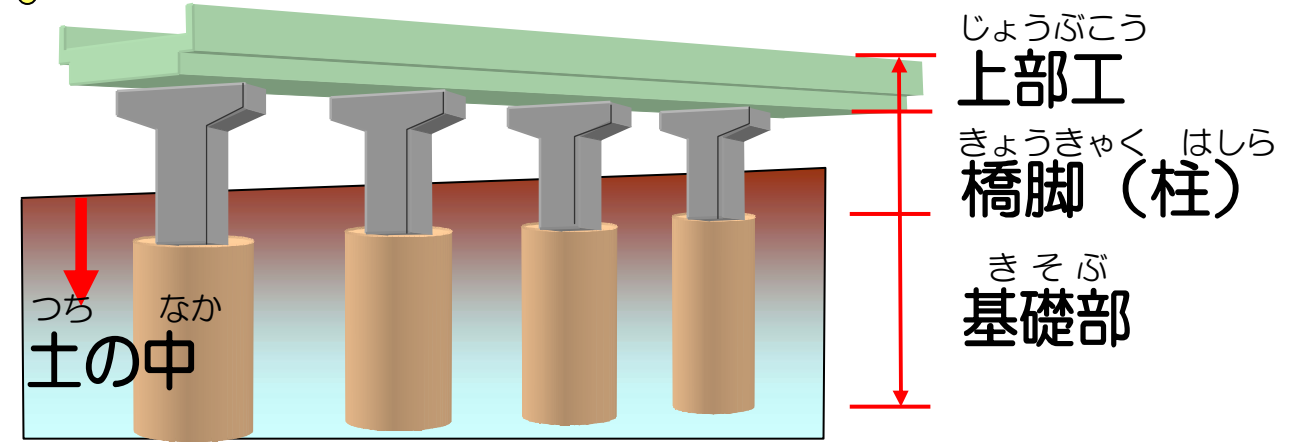
天井レール



0. 15m<sup>3</sup>バケツ



はし こうぞう  
**橋の構造**



橋というのは大きく分けて基礎部、橋脚部(柱)上部工で、できています。この現場ではニューマチックケーソン工法という方法で、基礎部・橋脚部(柱)を地中に造っています。

**ニューマチックケーソン工法とは?**

ニューマチック = 圧気 (圧縮空気を送って気圧を上げる)  
ケーソン = 函 (はこ)  
↳ 潜函工法と呼ばれる。

コップをさかさまにして水の中に入れてください。コップの中に水は入ってきません。これが、この工法の元です。大変簡単なんです。

